

2023年7月11日

東洋大学が進める3つの重点研究プロジェクト合同発表シンポジウム
『持続可能な環境浄化技術の
社会実装と海外展開に向けて』

日時： 7月22日（土） 13：30～16：50（開場13：00）

場所： 東洋大学 白山キャンパス 井上円了ホール

※対面・オンラインのハイブリッド開催

東洋大学（東京都文京区／学長 矢口悦子）は、学内で重点研究と位置づけている3つのプロジェクトに関する研究成果を合同で発表するシンポジウム『持続可能な環境浄化技術の社会実装と海外展開に向けて』を7月22日（土）に開催します。

『東洋大学重点研究プロジェクト』は、超スマート社会（Society5.0）の到来に向けて、地球レベルの課題解決に貢献するとともに、本学のブランドとなり得る独創的かつ先端的な研究プロジェクトを支援することを目的に創設しました。本学が制定した「SDGs 行動憲章」で掲げた「共存共栄の世界を創るための価値創造を果たすため、研究機関として多面的な知を結集し、広範かつ重層的な研究を展開し、多様で複雑な課題を解決する力となる」ことを目指しています。したがって、複数の学部や研究者が学内横断的に取り組む点が特長です。

今回は、次の3つのプロジェクトの合同シンポジウムを、対面およびオンラインにて開催します。

「極限環境微生物の先端科学をSDGs 達成のために社会実装する研究」

「安心な水を未来へ～有用細菌による排水処理技術の開発と普及に向けて～」

「レジリエントな社会に向けたSDGsの包摂的実現に関する研究」

つきましては、本シンポジウムをご取材賜りたく、ご案内申し上げます。

取材をご希望の方は、メールフォームから7月17日（月・祝）12：00までにお申込みいただけますようお願い申し上げます。

▶メールフォーム：<https://forms.office.com/r/47CXWNEw3M>

なお、オンラインをご希望の場合、URLを7月18日（火）にフォームに登録されたメールアドレス宛にお知らせします。

<記>



■日時：2023年7月22日（土） 13：30～16：50

■場所：東洋大学白山キャンパス 井上円了ホール（文京区白山5-28-20）

※研究発表者に直接ご取材を希望される場合は、終了後に時間を設けますので通信欄にその旨ご記入ください。

■内容：次ページの通り

□3重点研究プロジェクト合同シンポジウム

『持続可能な環境浄化技術の社会実装と海外展開に向けて』

- 13:30～ 開会挨拶 松丸 亮(重点研究プロジェクト「レジリエントな社会に向けたSDGsの包摂的実現に関する研究」プロジェクトリーダー、国際学部教授)
学長挨拶 矢口 悦子 (東洋大学学長)
- 13:45～ 「3重点研究プロジェクト合同シンポジウム」主旨説明
伊藤 政博 (重点研究プロジェクト「極限環境微生物の先端科学をSDGs達成のために社会実装する研究」プロジェクトリーダー、生命科学部教授)
- 13:55～ 重点研究プロジェクト
「極限環境微生物の先端科学をSDGs達成のために社会実装する研究」
▼「環境浄化と社会実装を目指したプラスチック分解菌の単離と同定」
東端 啓貴 (生命科学部准教授)
▼「東南アジアにおける高濃度アンモニア態窒素 (NH₄-N) の汚染水を浄化する技術開発」
三浦 健 (生命科学部准教授)
- 14:50～ 重点研究プロジェクト
「安心な水を未来へ～有用細菌による排水処理技術の開発と普及に向けて～」
▼「アナモックス細菌を用いた省スペース・省エネルギー型の窒素排水処理システム」井坂 和一 (理工学部教授)
▼「都市公園内の池が公園の満足度に与える影響の評価」
大塚 佳臣 (総合情報学部教授)
- 15:35～ 重点研究プロジェクト
「レジリエントな社会に向けたSDGsの包摂的実現に関する研究」
▼「ミャンマー・インレー湖における環境悪化要因の分析と住民主体の環境改善～成果と課題、地域への展開～」
湯浅 岳史 (本学国際共生社会研究センター客員研究員、パシフィックコンサルタンツ株式会社グローバルカンパニー国際プロジェクト企画部長)
- 16:10～ パネルディスカッション
- 16:40 閉会挨拶 井坂 和一(重点研究プロジェクト「安心な水を未来へ」プロジェクトリーダー、理工学部教授)

【本件に関するお問い合わせ先】
東洋大学PR事務局 (株式会社電通PRコンサルティング内)
MAIL : toyo@group.dentsuprc.co.jp